

# 「三鷹市教育ビジョン2022第2次改定（案）」に係る市民意見への対応について

## 【凡例】

- ①計画に盛り込みます・・・・・・・・意見を概ね提案どおりに盛り込むもの
  - ②計画に趣旨を反映します・・・・・・・・意見の趣旨を計画に反映するもの
  - ③対応は困難です・・・・・・・・趣旨の反映を含め計画に盛り込むことが困難なもの
  - ④事業実施の中で検討します・・・・・・・・事業実施段階で判断するもの
  - ⑤既に計画に盛り込まれています・・・・・・・・既に意見が計画に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が計画に反映されているもの
  - ⑥その他・・・・・・・・その他の意見など
- ※ページは、第2次改定（案）のページを示しています。

パブリックコメント提出状況

人数： 4名  
件数： 14件

No	該当ページ	該当部分	市民意見	対応の方向性	
1	全般	全般	全体的に余りにも内容が多い。今の学校教育は、改正された現行教育基本法のもとで教育行政の下請けになっているように思われる。大幅な精選をお願いしたい。	③対応は困難です。	「三鷹市教育ビジョン2022」は、国や都、三鷹市の関係法規、関係計画等を踏まえ、整合性を図るとともに、教育基本法で明示された教育の目的及び目標の達成に向け、三鷹の教育がめざすべき基本的かつ総合的な構想として施策の方向を定めるものです。三鷹市の教育振興基本計画としての位置付けをもつもので、大幅な精査、精選は、困難であると考えます。
2	全般	全般	市民にはすぐに理解できない横文字の表記が多い。市民に分かりやすい記述をお願いしたい。	⑤既に計画に盛り込まれています。	専門用語等、一般的に馴染みの少ない文言については、極力、欄外に注を設けて解説しています。
3	P5	目指す子ども像	「自己肯定感を高め、他人の話に耳を傾ける人」を目指す教育をしてほしい。	⑤既に計画に盛り込まれています。	三鷹市教育委員会では、「人間力」（基礎的な素養を身に付け、自立した一人の人間として考え判断し、豊かに力強く生きていくための総合的な力）と「社会力」（社会とのかかわりを持ち、社会の一員としての役割を果たしつつ、適切な人間関係を結び、共に生きていく力）を身に付けさせるために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した学習を通して、児童・生徒が自ら考え、判断し、表現する力を育てていきます。
4	P10	1 コミュニティ・スクールの機能の充実	「コミュニティスクール」に参加している地域市民はどのように選出されているのか。	⑥その他	コミュニティ・スクール委員会の委員は、地域の保護者、住民、対象学園の卒業生・関係者等の方のうちから、対象学園の学園長が推薦し、教育委員会が任命しています。
5	P10	2 地域人財の育成と協働の推進	広報活動が充実すれば学校支援者が増える、と認識されているのであれば改めてほしい。	⑤既に計画に盛り込まれています。	地域のボランティアについては、広報活動によるPRのほか、三鷹ネットワーク大学と連携したボランティアの養成講座を設定し、新たな人財の発掘を含めたボランティアの質の充実を図るなど、学校のニーズに応じた地域人財の確保とスキル向上の両面から推進していきます。

No	該当ページ	該当部分	市民意見	対応の方向性	
6	P10・11	2 地域人財の育成と協働の推進	地域人材を無償ボランティアで確保しようとしているが、無償ならそれなりの人材しか来ない時代だと考えてほしい。	⑤既に計画に盛り込まれています。	地域のボランティアについては、人財確保のみでは終わらず、三鷹ネットワーク大学と連携したボランティアの養成講座を設定し、新たな人財の発掘を含めたボランティアの質の充実を図るなど、学校のニーズに応じた地域人財の確保とスキルの向上の両面から推進していきます。
7	P11	2 地域人財の育成と協働の推進	みたか地域未来塾の活用について、交通費程度の謝礼では、ボランティアの方の年齢的、質的な偏りが出てしまうのではないかと。	⑥その他	みたか地域未来塾の支援員（ボランティア）は、10代の学生から現役をリタイアされた80代の方まで幅広い人財の方に支えられ、円滑に事業を進めています。また支援員の採用の際には、学校ごとに面談を行い、適正に判断をしています。
8	P12・13	4 小・中一貫教育の充実と発展	小中一貫教育には弊害が多いことが教職員団体の調査などでも明らかにされている。小中一貫教育ありきではなく、実態をすみずみまで把握し、早急に廃止すべきである。	③対応は困難です。	小・中一貫教育導入以前は、子どもたちの学習意欲の低下や家庭での学習習慣の未定着、つまづきを抱えたままでの進級・進学、学年進行とともに増大する不登校などの全国的な課題がありましたが、小・中一貫教育の導入により、小・中学校の教員が徹底して協働し、児童・生徒の発達段階に即した「学び」の系統性と連続性を保障した9年間一貫した指導を可能としました。このように大きなメリットがあることや、目立った問題等は順調に制度の運用ができていくことを考慮すると、早急に廃止するのは非常に困難であると考えます。
9	P13	5 知・徳・体の調和のとれた三鷹の子どもを育てる教育内容の充実	「特別な教科 道徳」には、子どもたちを卒にはめ込み、国家の役に立つ「人材」にしたてあげようとする意図がこめられている。新学習指導要領を子どもの成長発達を保障し、人格の完成をめざす教育と齟齬がないのか十分な検討が求められる。日本が子どもの権利条約を批准して25年が経つ。子どもの権利が十分に保障される教育であるべきだ。	⑥その他	「特別な教科 道徳」については、子どもたちをある一定の卒にはめ込むことを意図するものではなく、豊かな心の育成や規範意識の向上のため、「特別な教科」として位置付けています。道徳教育は、児童・生徒が生命尊重、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力など、思いやりの心や、公共の精神を学び、社会生活の基本的なルールを身に付けられるようにしています。
10	P14・15	7 生活指導の充実	市内でいじめが原因で所属の学級に登校できなくなっている児童がいることについて、通学できなくなったことによる様々な不利益だけでも回避するための手助けがあってもよいのではないかと。	⑤既に計画に盛り込まれています。	これまで、通級指導学級が担ってきた不登校対応について、全市立中学校への校内通級教室開設を契機に適応支援教室（A-Room）を設置し、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的自立や学校復帰に向かえるよう支援します。
11	P17	10 学園長・校長の学校経営ビジョンに基づく特色ある学園・学校づくりの推進	「特色ある学園・学校づくりの推進」については、特色を出すようにと行政が上から煽らずに、「三鷹の学校はどの学校もいい学校だね」と言われるよう、三鷹の学校のすべてを行政は応援してほしい。	⑤既に計画に盛り込まれています。	各学園・学校で、自律的な学園・学校経営をコミュニティ・スクール委員会と協働で進める体制をより一層整備し、学園の教育計画に基づく各学校の教育課程の編成を通して特色ある学園・学校づくりを推進していきます。また校長の強いリーダーシップのもと、学校の実情に則した特色ある学校経営を推進します。
12	P17・18	11 三鷹らしい教育の実現を目指す教員のキャリア支援と人財育成	学校での教育内容に関して、「教育ビジョン」のような膨大な内容は、とても勤務時間内に指導の準備は完了できるとは思えない。また、教員の研修の記述も目につくが、研修は大事であるものの、研修の実施によりさらに忙しくなることも知っておかなければならない。	③対応は困難です。	「三鷹市教育ビジョン2022」は、国や都、三鷹市の関係法規、関係計画等を踏まえ、整合性を図るとともに、教育基本法で明示された教育の目的及び目標の達成に向け、三鷹の教育がめざすべき基本的かつ総合的な構想として施策の方向を定めるものです。三鷹市の教育振興基本計画としての位置付けをもつもので、大幅な精査、精選は、困難であると考えます。また、「三鷹市立学校における働き方改革プラン」に基づき、教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を確保することで、児童・生徒の教育に力を注ぎ、学校教育の質の向上を図ります。

No	該当ページ	該当部分	市民意見	対応の方向性	
13	P23	目標Ⅴ 地域をつなぐ拠点となる学校をつくります。	「学校・家庭・地域の力を集結して」とあるが、家庭への行政の介入が懸念される。今は、さまざまな形式、多様な家族が生まれている。それぞれの自主性と主体性が尊重されるべきである。	⑥その他	家庭への行政介入を意図しているものではなく、既存の地域社会のすべての力を結集し、それぞれの強みを生かした協働をすすめ、地域をつなぐ、学校を核としたコミュニティの創造を目指します。
14	---	---	教科書の展示について、会場を増やしてほしい。土日開催してほしい。	④事業実施の中で検討します。	教科書採択の際の展示については、会場となる建物のセキュリティや広さ、対応する職員、見本教科書のセット数等を考慮した上で、土日開催や複数会場での開催について検討します。なお、採択決定した教科書については、実際に使用する年度より、図書館本館にて展示しており、土日も閲覧可能となっております。